

普及項目	その他
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

水産普及活動情報の発信

水産研究センター企画情報室・寺尾 清、長山 公紀

【背景・目的・目標（指標）】

現場で活動する普及指導員の活動情報は、水産施策上、非常に重要な情報源である。そこで、関係機関が現場の状況を把握し、本県水産業を振興する施策に反映させるために普及指導員の活動情報を県関係機関に迅速かつ効率的に伝えることを目的とし、10報の発信を目標とした。

【普及の内容・特徴】

広域本部水産課の普及指導員が、水産研究センター企画情報室に提供した活動情報水産普及活動情報としてとりまとめ、関係機関に庁内メールシステムにより情報を発信した。

その内容は、普及指導員による二枚貝の増養殖技術の普及や試験、漁業士会活動への支援等、合計6報であった。

【発信した情報】

- NO.1 覆砂漁場で大量に発生したアサリ稚貝の保護・育成手法の検討
- NO.2 天草市有明町大浦地先におけるカキ浮遊幼生調査
- NO.3 天草地区漁業士会による魚類養殖体験教室
- NO.4 天草地区漁業士会と尚絅大学の連携による「尚絅食育の日～お魚の日～」の開催と意見交換
- NO.5 干潟漁場におけるクマモト・オイスター越夏試験
- NO.6 覆砂漁場で発生した地場稚貝を活用した「大野方式」導入による母貝場造成手法の検討

【成果・活用】

関係機関から、「現場の状況や抱える課題・問題点が分かる」、「普及指導員の活動状況や活躍ぶりが分かる」との声が聞かれた。

同じ課題を抱える普及指導員相互の情報交換ができた。さらに、関係者から指摘やアドバイスを受けることで、普及指導員の資質向上や活動の進展が図られた。

【達成度自己評価】

- 3 おおむね達成できたが、取組に改善を要する等の課題も見られた（51%～75%）

